

大牟田市立歴木中学校

1 本校のESDの特徴

本校では、他人との関係性、社会との関係性、自然環境との関係性を認識し、「防災教育(SDGs13)」「福祉体験(SDGs3)」、「職場体験(SDGs8)」、「保育体験(SDGs4)」の交流体験及びキャリア教育から様々な課題の発見と解決に向けた主体的・協働的な学びを通して、実生活や社会で生かされる思考力・判断力・表現力を身につけることを目指している。

生徒たちは学習を進めていく中で「考え」たり「感じ」たりしたことから課題を見つけ、班目標、個人目標を設定し、実践につなげることがねらいである。また、生徒同士や地域に住む人たちとの思いや願いを共有し、「つながり」「かかわり」を大切にしながら、地域に対する誇りを持つことで新たな自分を発見し、地域に貢献できる資質や能力を育成することを目指している。

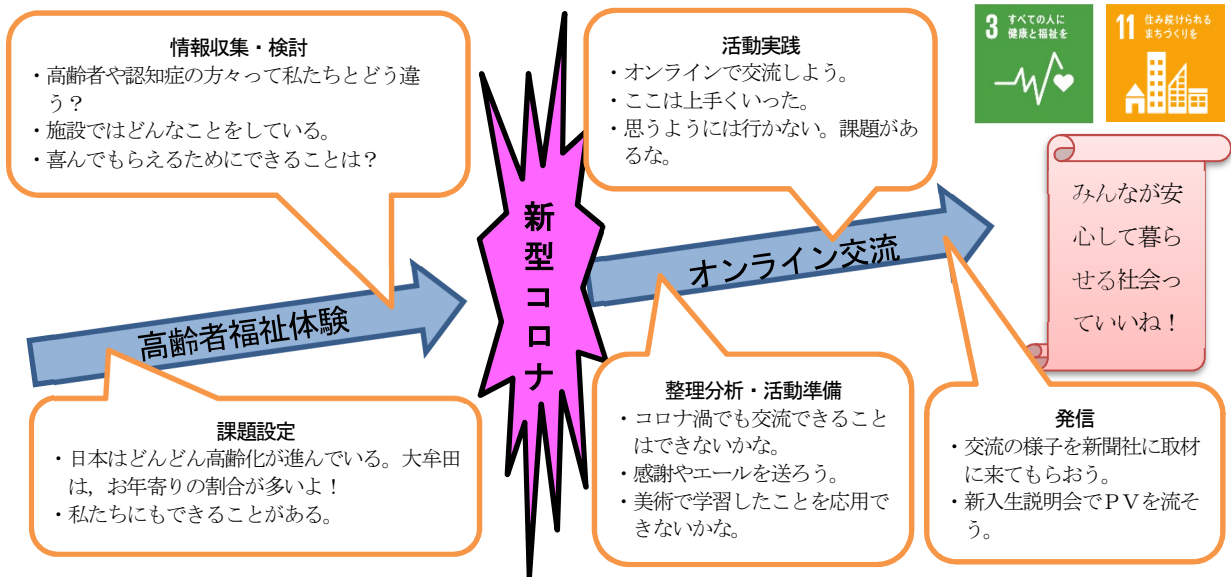
今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で体験学習が困難なため、SDG sに関する新聞の記事などを読んで、自分が経験したことや感じたことなどを踏まえ、「自分たちにもできることはある」を考え、具体的な実践に繋いでいっている。

2 ユネスコスクールとしての活動・全体計画

第1学年 「福祉と生き方」	第2学年 「自己実現とキャリア教育」	第3学年 「保育体験と自己実現教育」
福祉体験学習 ○高齢者疑似体験 ○福祉施設職員との懇談会 ○福祉施設での介護体験 ○学習のまとめ	職場体験学習 ○職業学習 ○マナー教室 ○事業所での職場体験 ○学習のまとめ	保育体験学習 ○幼児期の発達段階の学習 ○保育実習事前準備 ○保育所・幼稚園での保育実習 ○学習のまとめ
世界遺産学習		
防災教育・キャリア教育		
※SDG s 基礎		

※今年度は、体験学習が困難だったため、SDG sの基礎として、世界の課題や日本そして大牟田の課題をつかむことに重点を置いた。また、昨年度、各体験学習でお世話になった事業所等に対して、オンライン等を使って、感謝や応援のメッセージアートを送った。

3 特徴的な活動事例（第1学年「高齢者福祉体験学習」）



高齢者についての正しい知識と理解を深める取組（第1学年）	
目標	<p>○高齢者福祉学習を通して、相手の気持ちを考え、地域や社会へ貢献しようとする態度を養う。</p> <p>○課題の解決に工夫して取り組むことができるようになる。</p>
実践の展開	<p>○DVDなどの資料を通して、高齢化社会や認知症について知り、高齢者の方や大牟田のまちづくりのために自分にできることは何かを考える。</p> <p>○感謝と応援のメッセージアートを作製し、高齢者施設との交換会を実施し、その様子を高齢者施設とオンラインで結ぶ。</p>
生徒の感想	<p>○新型コロナウイルスの影響により、高齢者施設に行くことができなかったけれど、オンラインでつながり、クラスみんなが施設の方を考えてアートを作り、人を思う気持ちが芽生え、アートでつながりとてもうれしかった。</p> <p>○施設を訪問することはできなかったけれど、オンラインを通して高齢者の方や施設の職員の方と触れ合うことができたのでよかったです。メッセージアートでお互いの思いを伝えることがわかりました。</p> <p>○今回は高齢者の方々とお会いすることはできなかったけれど、自分の思いを伝えられたので、とてもいい気分でした。もし、高齢者の方とお会いしたら、大きな声であいさつをしたり、一緒に話をしたりしてみたいです。</p> <p>○一人一人がつくったものを併せて1つの作品にすることから協力することが大事だと思った。会うことができなかったけれど、Zoomを使って話を聞くことができてよかったです。</p> <p>○高齢者のみなさんもすてきな「ありがとう」を作っていて、すごいなと思いました。</p> <p>○美術で習ったゼンタングルアートを使って作ったものを高齢者の人と交換できた。次に、企画があったら、実際に行きたいと思った。</p>

4 本年度の成果と課題

○ 成果

- ・コロナ渦の中でも自分たちにできることはないかと考えることができた。
- ・各学年とも、お世話になっている高齢者施設や事業所や幼稚園・保育所に感謝や応援のメッセージアートを送ることができ、これまでのつながりを保つことができた。
- ・第1学年では、オンラインという新しい手法で人や地域とつながることができた。



メッセージアート

○ 課題

- ・今後も体験学習の実施が困難だと考えられ、それに変わる内容の検討と工夫
- ・他学年との交流や他の学校や機関との交流
- ・ICTの環境整備と教職員の技能向上



高齢者施設とのオンライン交流会